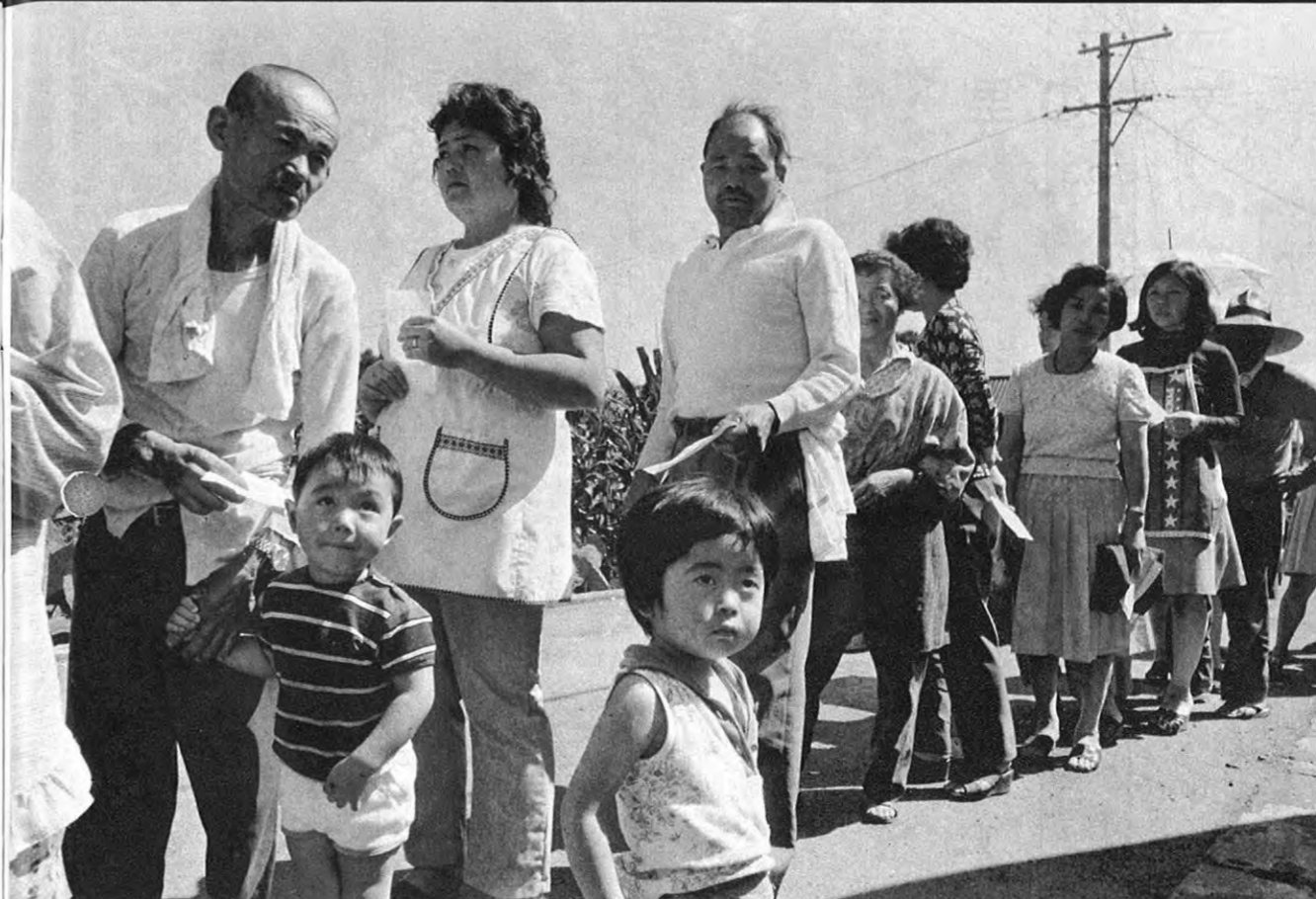


# 皆んな揃って健康診断



▲複合検診は結核、循環器、胃がん、子宮がんの各検診の一部又は全部を組み合わせた検診です。(写真は結核、胃がん検診車)



▲健康は自分のもの、誰れのものでもありません。定期検診で早期発見を。(写真は複合検診に集った人たち)



◀結核検診車でのレントゲン撮影

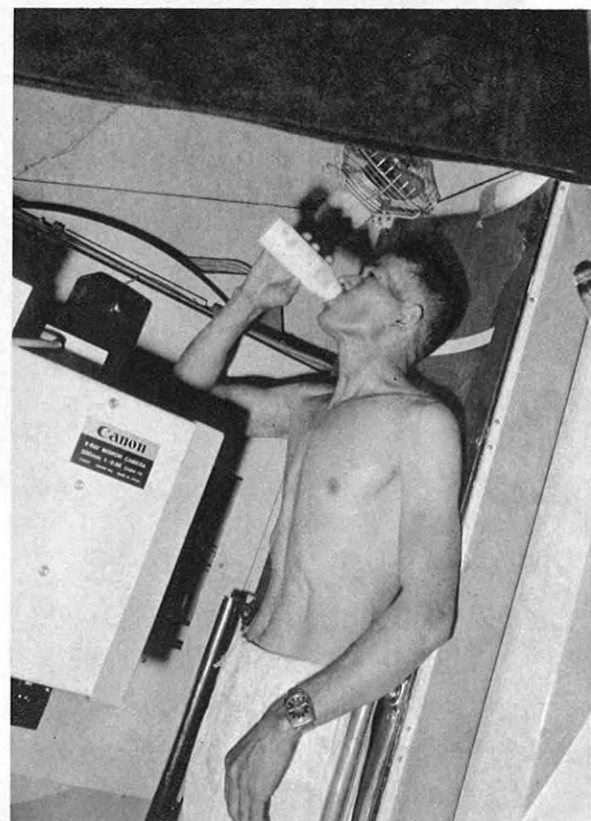
十一市町村で始められたのが複合検診です。年次拡大●凶ってまいります。

成人病は中年以降に急増し、社会的に重要な年齢層、家庭では大黒柱ともいべき人達を襲うので大きな社会問題といえます。

成人病の予防には決め手がありません。発病の原因等不明の点が多く、困ったことには自覚症状がないために気がついた時にはかなり病気が進行していて手遅れというケースが多いことです。がんの場合でも前がん状態や初期のうちに発見して治療すれば、殆んどなおるところまで医学は進歩しています。

定期健康診断をうけることは、自分自身の健康状態を知ることと、早期発見、早期治療を行い健康を守るという意味で非常に重要なことです。

こういう機会には揃って健康診断をうけたいものです。



▶胃がん検診車での胃の透視

## 「複合検診」を受けましょう

— 早期発見・早期治療が決め手です —

脳卒中・がん・心臓病など、いわゆる成人病による死亡者は、年々増加の傾向にあつて、県民総死亡数の六割を占めています。

現在、各市町村で毎年、結核・循環器・胃がん・子宮がんの巡回検診が行われていますが、その受診率は、結核を除いて対象者の一〇％～二〇％程度で極めて低いのが現状です。そこで受診率の高い結核検診(受診率県平均七三%)を軸に、循環器・胃がん・子宮がんの各種検診の一部又は全部を組合せた検診を実施して受診率を大幅に引き上げ、しかも、一日一種目の検診で、全部をうけるのに何日も費やして●たのを、一日で三種・四種の検診をうけられるという一石二鳥の効果をねらつて、今年から県下二